



しろしたこうさく 城下広作県政報告誌



県民の身近な代弁者

2023年 6月発行

第104号



ご挨拶

猛暑の候、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。さて、今年は4月に県議会の改選があり、当選後最初となる6月議会で一般質問を行いました。私はTSMCの進出を歓迎する一方で、交通渋滞・地下水問題の対応、また、今話題の生成人工知能（AI）の問題など取り上げ県の姿勢を問いました。課題多き県政、「県民の身近な代弁者」として頑張ります。

県議会議員（会派公明党）城下広作

城下広作の
ホームページ

改選後、4・5・6月の主な活動を紹介



●4月15日、牛深ハイヤ祭り式典に参加。



●5月1日、水俣病犠牲者慰靈式に参加。



●5月8日、Jアラート調査のため北海道庁を訪問。



●5月13日、山口代表と県防災センター・新空港を視察。



●5月18日、県中古車販売協会総会に参加。



●5月19日、県土地家屋調査士会総会に参加。



●5月20日、県選出国会議員への要望・陳情。



●5月28日、県行政書士会総会に参加。



●5月30日、県浄化槽協会総会に参加。



●6月15日、県トラック協会総会に参加。



●6月18日、滝室坂トンネル貫通式に参加。

●ホットライン《お気軽にご相談ください。》

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767

携帯電話/090-8661-7722

<http://www.shiroshita-kousaku.net/> E-mail: info@shiroshita-kousaku.net

令和5年6月定例県議会一般質問 要旨

令和5年6月12日
質問者/城下広作

1. 熊本地震について

- (1)7年目の総括・(2)祈念碑の周知
- (3)防災センターと震災遺構等の児童生徒への防災教育

(1)住まいの再建や益城町の復興まちづくりなど課題の存在を認めつつ、残された課題に全力で取り組むと答弁。(2)祈念碑の周知については痛みや悲しみを癒す場所、展示・学習室来館者への案内など更なる周知に努めると答弁。(3)児童生徒に対しても防災教育の場として、小学校等における見学旅行や防災学習、親子での見学等積極的に周知すると答弁。



2. 緊急速報Jアラートへの対応について

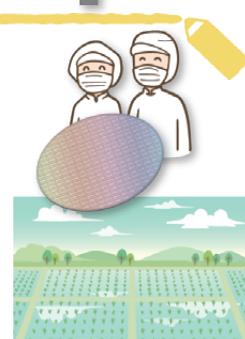
4月13日、午前8時丁度頃、5月31日には沖縄県にJアラートが発令された。特に北海道に発令されたJアラートの内容は、我が国の領土・領海内に落ちるとの予想から道民に混乱が生じたとの報道を受け、道庁へ視察したことを報告。県は今年度ミサイル攻撃を想定した住民参加による避難訓練を8月に水俣市で、来年2月には、熊本市で実施予定と答弁。



3. TSMC進出関連について

- (1)県内就労状況と人材流出・(2)道路整備と用地買収時の懸念
- (3)地下水保全の企業負担のあり方

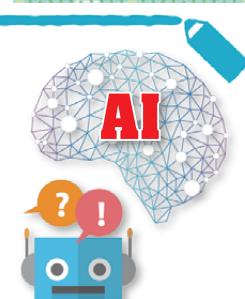
(1)JASMの今年4月の125名の採用では、地元の大学、高専、高校から、多くの人材を採用と伺っていると答弁。(2)県道大津植木線の多車線化や立体交差を検討、用地を先行して買収できる制度の活用を検討すると答弁。(3)新規に取水する井戸については取水量に見合う量の対応を企業に求める方向で指針の見直しを、事業者には更なる水循環の促進を要請すると答弁。



4. 生成人工知能(AI)の活用について

- (1)知事部局での対応・(2)教育庁での対応・(3)警察本部での対応

(1)セキュリティ上のリスク、回答の正確性に課題があると聞いている。デジタル戦略局で検証を行わせていると答弁。(2)子供たちが自分の考えを形成するための手段として、生成AIを適切かつ効果的に活用することが出来るよう、ルール作りが必要と考えていると答弁。(3)情報の正確性については、最終的には人が判断するよう注意喚起していると答弁。



5. 中小企業の諸問題について

- (1)融資の返済状況とその後の支援・(2)賃金の格差

(1)令和4年度末で9割超の事業者がコロナ関連融資の返済を開始。借り換え需要「経営改善資金」の実績は、本年5月末時点での3,751件、527億円超。人材確保、後継者問題に対する支援を求める声が多いと答弁。(2)国は最低賃金の全国加重平均を現在の961円から令和5年に1000円へ上げる目標を示している。県商工会の調査では、賃上げできない企業が多いと報告。



6. 夜間中学開設について

- (1)入学予定者の確保・(2)教職員の体制

(1)7月15日から30日に入学希望者説明会を県内6ヶ所で実施。一部オンラインでも対応する予定。夜間中学校での学びを必要としている方々に、確実に情報を届け、夜間中学への入学者が増えるよう取り組んでいくと答弁。(2)教職員の年齢、経験、校種等を踏まえ、ボランティア等を活用しながら、サポート体制を整え、多様なニーズに対応していくと答弁。



PROFILE 城下広作プロフィール

●熊本県議会議員(熊本市第一選挙区【中央区・北区・東区】)7期 ●党県代表 ●九州測量専門学校卒 ●県立牛深高校同窓会顧問、九州測量専門学校顧問、県行政書士政治連盟顧問、県土地家屋調査士政治連盟顧問、県環境整備事業協同組合顧問 ●1959年4月8日生まれ